

研究計画の概要

秋田市立土崎南小学校

研究開発課題 : 地域の特徴を生かした教育活動

学校教育目標 : 心豊かに、たくましく、自ら学ぶ子どもの育成

研究主題 : 確かな力を育む、学びの創造 ~ 「かかわり」の中で生き生きと学ぶ子ども~

主題設定の理由

平成15年から本研究主題に取り組みはじめ、基礎的、基本的な内容を大切に、子どもの学ぶ意欲を育むこと、学び合いの中に学習の本質を探ってきたことなど、これまでの取り組みによって十分な成果が得られてきた手応えを感じている。これらの成果を踏まえ、さらに新学習指導要領の実施を見据え、新たに3年次計画で本研究主題を継続することとした。

今年度からは、地域の人材や素材をさらに活用し、子どもの学びを広げたり、深めたりしていくことができるよう生活科と総合的な学習の時間を切り口とし、単元の見直しや開発などに取り組みたいと考える。

研究の仮説

子どもたちの身近な地域の人たちや、自然、文化などとの「かかわり」を重視し、地域の人材や素材の活用を図っていくことで、子どもたちの学びは、より豊かなものになるに違いない。新たな発見が問題意識や課題意識を引き出すと共に、学習活動の中につくり出される学びの場によって、確かな力を身に付けることができるだろう。

研究の重点

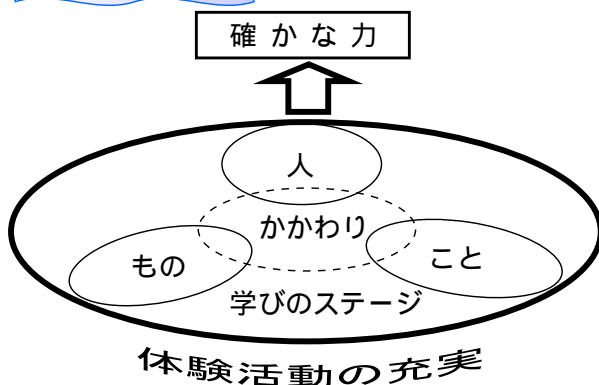
地域と関連させた体験活動の充実

- ・ 地域（ひと・こと・もの）を学びのステージとする体験活動の充実
- ・ 学校や地域の特徴を生かした、子どもの意欲をかき立てる単元づくり
- ・ 子どもの学びに生きる地域素材・人材の開発
- ・ 思いや願いを引き出し、課題に結びつく体験活動や課題解決のための体験活動の重視

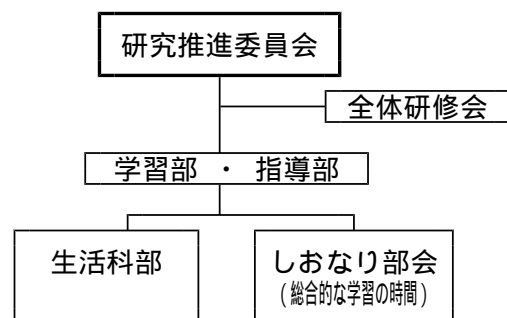
学習環境の整備

- ・ 地域の素材や人材リスト、マップの見直し
- ・ 情報や資料活用の中としての図書室や郷土資料室の整備
- ・ 学びの足あとを見取ることができる掲示の工夫

研究の全体構想図



研究の組織



<小中一貫した考えに立った教育との関連>

地域の中での学習活動や、地域行事への参加を通して、子どもたちが地域の一員である自覚をもち、その意識を高められるようにしていきたい。